

平成28年度
第1回高松市牟礼地区地域審議会
会議録

と き：平成28年8月18日（木）

ところ：牟礼コミュニティセンター ホール

<p>平成28年度 第1回高松市牟礼地区地域審議会 会議録</p>

1 日時

平成28年8月18日(木) 午前10時開会・午前11時45分閉会

2 場所

牟礼コミュニティセンター ホール

3 出席委員 10人

<p>委員 奥谷義明</p> <p>委員 小田幸子</p> <p>委員 川田ヒロミ</p> <p>委員 栗本好正</p> <p>委員 坂本英之</p>		<p>委員 多田壽美</p> <p>委員 中村泰子</p> <p>委員 松浦隆行</p> <p>委員 松原伊早恵</p> <p>委員 三野重忠</p>
-----------------------------------------------------------------------------	--	-----------------------------------------------------------------------------

4 欠席委員 2人

<p>委員 那須巖</p>		<p>委員 久岡芳彦</p>
---------------	--	----------------

5 行政関係者 40人

<p>市民政策局長 城下正寿</p> <p>地域政策部長 地域振興課長事務取扱 多田雄治</p> <p>政策課主幹 正垣仁美</p> <p>地域振興課長補佐 植田敬二</p> <p>地域振興課 地域振興係長 宮武宏行</p> <p>コミュニティ推進課長 藤田晃三</p>		<p>コミュニティ推進課長補佐 藤川盛司</p> <p>くらし安全安心課長 山下省吾</p> <p>くらし安全安心課長補佐 谷本泰洋</p> <p>交通政策課長補佐 伊賀大介</p> <p>交通政策課主査 高橋淳</p> <p>総務局次長 危機管理課長事務取扱 宮脇一正</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

危機管理課長補佐	十 河 知 史	保健センター副センター長	
財産経営課ファシリティマネジメント 推進室長	森 田 安 男		山 上 浩 平
健康福祉局次長 健康福祉総務課長事 務取扱	上 枝 直 樹	環境総務課地球温暖化対策室長	
健康福祉局次長 障がい福祉課長事務 取扱	金 崎 文 俊		三 好 健
長寿福祉部長 長寿福祉課長事務取扱		環境保全推進課長	鍋 嶋 武 志
	多 田 安 寛	環境保全推進課長補佐	
長寿福祉課長補佐	高 尾 昌 伸		折 目 勝 文
地域包括支援センター長		産業振興課長補佐	溝 渕 雅 春
	香 西 真由美	産業振興課 産業支援・労政係長	
地域包括支援センター副センター長			野 生 須 寛 之
健康福祉局次長兼こども未来部長	徳 重 貴 子	文化芸術振興課長	一 原 玄 子
こども園運営課長事務取扱		スポーツ振興課長	高 尾 和 彦
	松 本 剛	都市整備局次長 道路整備課長事務取 扱	高 嶋 茂 樹
こども園運営課主幹	宮 脇 智 子	道路整備課長補佐	増 尾 真 吾
こども園運営課主幹	中 谷 厚 之	河港課長	里 石 明 敏
保健センター長	水 田 晶	都市整備局次長 建築指導課長事務取 扱	金 本 一 成
保健センター副センター長		建築指導課長補佐	三 宅 隆 行
	秋 山 みさき	上下水道局次長 下水道整備課長事務 取扱	木 村 重 之
		下水道整備課主幹	岡 田 浩

6 事務局（牟礼支所） 3人

支所長	清 谷 文 孝	管理係長	井 上 政 治
支所長補佐	山 崎 茂 樹		

7 オブザーバー 1人

高松市議会議員	井 上 孝 志
---------	---------

8 傍聴者 1人

会 議 次 第

1 開会

2 会議録署名委員の指名

3 議事

(1) 報告事項

ア 合併基本計画に係る平成27年度事業の実施状況について

(2) 協議事項

ア 合併基本計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見
に対する対応方針について

4 その他

5 閉会

午前10時 開会

会議次第1 開会

○事務局（山崎支所長補佐） お待たせをいたしました。予定の時刻がまいりましたので、ただいまから平成28年度第1回高松市牟礼地区地域審議会を開会いたします。

委員の皆様には、何かと御多忙中のところ御出席をいただき、誠にありがとうございます。

議事に入りますまでの間、本地域審議会の事務局として、私、山崎が進行させていただきますので、よろしくお願いを申しあげます。

初めに、開会に当たりまして、三野会長より御挨拶を申しあげます。

○三野会長 おはようございます。開会に当たりまして、一言御挨拶を申しあげます。

委員の皆様方におかれましては、何かとお忙しい中、また連日の猛暑で大変お疲れのところを本地域審議会に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。本日の地域審議会は、既に御案内を差し上げてございますように、報告案件と協議案件でございます。どうか最後まで、御審議をよろしくお願ひ申しあげたいと思います。

また、当局の皆様方におかれましては、城下局長を始め、幹部の皆様、来月の9月5日から始まります市議会の準備で何かと御多忙の中、わざわざ御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

これからの御審議の中で、各委員の皆様方から、いろいろな御質問、御意見が出ようかと思ひますが、的確なる御回答をよろしくお願ひ申しあげます。

また、大変御多忙の中、オブザーバーとして、お越しいただいております井上議員、この場をお借りしまして、厚く御礼を申しあげたいと思ひます。今後も、高松市の更なる発展のために、どうか御指導をよろしくお願ひ申しあげたいと思ひます。

ところで、今年の5月23日ですが、厚労省が2015年の日本の人口動態統計を発表されていることを御承知かと思ひます。その中で、合計特殊出生率が2年ぶりに0.04ポイント上昇し、1.46になったという嬉しいニュースがあったかと思ひます。47都道府県の中で、一番数値が高いのは、沖縄県でございまして1.94、一番低いのが東京都で、1.17でございまして。香川県は、上から9番目で1.64ということで、知事も非常に嬉しい談話を発表したということでございまして。

国も1.80を目標に、いろいろな施策を講じているようですが、これといった特効薬は、まだ見つかっていないのではないかと思ひます。国、自治体、企業の三者が一体となって、

この問題に取り組んでいかなければならないと思います。

昨年の赤ちゃんの出生数ですが、何とか百万人台には乗ったようでして、1,005,656人でございますけれども、亡くなられた方が、かなり多いということで、差し引きしますと285,000人減ということは、大きな市が一つ無くなったということになります。毎年、この傾向は続くのではないかと心配するところでございます。

どうか本日の地域審議会、最後までお付き合いいただきますようお願い申しあげまして、開会の御挨拶に代えさせていただきます。

今日は、大変暑い中を御苦勞様でございます。

○事務局（山崎支所長補佐） ありがとうございます。

また、先ほど三野会長の御挨拶でも御紹介がありましたが、高松市議会議員であります井上市議にも、オブザーバーとして御出席をいただいておりますので、改めてよろしくお願いたします。

それでは、会議に入ります前に、会議の進行等について、皆様にお願がございます。

本地域審議会の会議につきましては、会議録を作成することとなっておりますので、御発言をされる際は、まず、議長の許可を得た後、誠に恐れ入りますが、お手元のマイクのスイッチを押していただき、お名前を先に申し出ていただいてから、御発言をされますよう、お願いを申しあげます。以上でございます。

それでは、本地域審議会に関する協議第7条第3項の規定に基づきまして、会議の議長を務めていただきます三野会長に、これ以降の議事進行をよろしくお願いたします。

○議長（三野会長） それでは、これより議長を務めさせていただきますので、皆様方の何分の御協力をよろしくお願申しあげます。

まず、本日の委員の出席状況でございますが、定数12名の委員中、10名の御出席をいただいております。本審議会協議第7条第4項の規程に基づきまして、委員の半数以上の出席を得ておりますので、本日の会議は成立いたしておりますことを御報告申しあげます。

会議次第2 会議録署名委員の指名

○議長（三野会長） 続きまして、会議次第2の「会議録署名委員の指名」でございますが、会議録の署名委員は、本地域審議会委員の名簿順にお願いしております。

名簿順でいきますと、本日の会議録署名委員には、栗本委員と坂本委員のお二人にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いたします。

会議次第3 議事(1) 報告事項

ア 合併基本計画に係る平成27年度事業の実施状況について

○議長(三野会長) 続きまして、会議次第3の「議事」に入ります。

本日の議事でございますが、会議次第にもございますように、報告事項1件と協議事項1件の案件でございます。

会議の進行でございますが、まず、(1) 報告事項アの合併基本計画に係る平成27年度事業の実施状況について、担当部局より御報告をいただき、その後、御意見、御質問をお受けしたいと思います。

続いて、(2) 協議事項アの合併基本計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針について、担当部局より御説明をいただきたいと存じます。その後、御意見、御質問をお受けしたいと思います。

なお、時間の関係もございますので、御質問、御答弁につきましては、簡潔にお願いいたします。

それでは、報告事項アの合併基本計画に係る平成27年度事業の実施状況について、担当部局であります地域政策部の多田部長より御報告をお願いいたします。

○多田地域政策部長 はい、議長。

○議長(三野会長) 多田地域政策部長。

○多田地域政策部長 地域振興課長の多田でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、報告事項アの合併基本計画に係る平成27年度事業の実施状況につきまして、お配りしております資料を基に御説明をさせていただきます。

お手元に、A3サイズの横書きの表が2種類あると存じますが、そのうち、資料H28-1-①の合併基本計画に係る平成27年度事業の実施状況調書(牟礼地区のみの事業)を御覧ください。

この資料でございますが、一番左側の欄にまちづくりの基本目標として、「連帯のまちづくり」から「参加のまちづくり」までの5つの基本目標ごとに、施策の方向、施策項目、事業名、平成27年度事業の実施状況を記載し、平成27年度の予算現額と決算額を対比させるとともに、28年度へ繰り越した事業については、その額と事業の概要を記載しております。

時間の関係もございますので、逐一の説明は省略させていただきますが、主な事業の平成

27年度決算額を申しあげます。

まず、まちづくりの基本目標、「連帯のまちづくり」では、特別保育といたしまして、延長保育・障がい児保育等2,037万3千円、子育て支援施策の検討といたしまして、牟礼北放課後児童クラブ施設整備841万4千円でございます。

「循環のまちづくり」では、水道管網の整備といたしまして、老朽ビニル管の更新2,763万2千円、下水道汚水施設の整備（東部処理区）といたしまして、2,435万2千円、牟礼浄化苑施設改築事業といたしまして、牟礼浄化苑沈砂池機械設備改築工事等2億7,133万2千円、牟礼浄化苑管理費といたしまして、1億4,671万3千円、合併処理浄化槽設置整備事業（浄化槽助成）として、6基分172万1千円でございます。

「連携のまちづくり」では、ポンプ場の整備（浸水対策）といたしまして、杉並1号ポンプ場改修工事1,394万4千円、学校施設の耐震化といたしまして、牟礼南小学校屋内運動場非構造部材等改修工事1,917万6千円、学校施設の整備といたしまして、牟礼南小学校プール循環ろ過装置改修工事600万6千円。

2ページをご覧ください。石の民俗資料館の運営・充実といたしまして、施設の維持管理・常設展示の充実等2,178万2千円でございます。

「交流のまちづくり」では、県道三木牟礼線 国道11号へのアクセス改善としまして、107万5千円、市道等の整備といたしまして、菜切線改良、用地730万円、川原松井谷線測量設計285万9千円でございます。

「参加のまちづくり」では、地域審議会の開催といたしまして、35万円でございます。

以上、「連帯のまちづくり」から「参加のまちづくり」までの決算額を合わせまして、総額で、6億583万2千円を平成27年度において執行いたしております。

また、平成28年度への繰越額の欄に記入のある事業につきましては、平成27年度内の事業の完了に向けて、鋭意、取り組んでまいりましたが、結果として、年度を繰り越して事業の実施を図る事情が生じたものでございまして、その総額は、1億1,010万7千円となっております。

以上、合併基本計画に係る平成27年度事業の実施状況でございます。よろしくお願いたします。

○議長（三野会長） ありがとうございます。

報告が終わりましたので、これより質疑に入りたいと思います。（1）報告事項アの合併基本計画に係る平成27年度事業の実施状況について、御質問、御意見等がございましたら御発言をお願いいたします。

○中村委員 はい、議長。

○議長（三野会長） 中村委員。

○中村委員 中村でございます。質問ではないのですが、一言御礼を申し上げたいと思います。

牟礼北放課後児童クラブですけれども、最初はシャッターを設置するというので、大変心配をしておりました。教室は、空き教室をお借りすることになったのですが、両極端の教室になるということで、いろいろ反対意見もありました。

しかし、設置していただいたシャッターを見に行きましたら、向こうが透けて見えるような、そんなに圧迫感のないシャッターにさせていただきました、ありがとうございました。以上です。

○議長（三野会長） はい、御配慮をありがとうございました。

他にございませんか。

○栗本委員 はい、議長。

○議長（三野会長） 栗本委員。

○栗本委員 栗本でございます。よろしく申し上げます。

あらかじめ質問を出していたんですが、資料の2ページの道路の整備のところ、予算の未消化状況が続いていますが、その原因とそれについて、どのように対処してきたのか、お尋ねいたします。

○高嶋都市整備局次長 はい、議長。

○議長（三野会長） 高嶋次長。

○高嶋都市整備局次長 道路整備課の高嶋でございます。

道路整備の遅れについてでございますけれども、実施状況調書の県道三木牟礼線につきましては、西側の用地取得の遅れが原因で28年度への繰り越しが発生しております。今年度、引き続き用地交渉を継続していくほか、別途用地取得済み箇所の道路100メートル間の工事を実施していくと県のほうから伺っております。

次に、市道菜切線につきましては、JR四国との踏切の協議に期間を要し、年内の完了ができず、御迷惑をおかけしましたが、8月10日に竣工しておりますので、御報告させていただきます。市道川原松井谷線は、予定どおり設計まで完了しております。

次に、市道丹僧菜切線の舗装打ち換え工事につきましては、国の補助金を活用した事業計画でしたが、国の内示承認が得られなかったことから、未執行になってしまいました。このような状況を踏まえまして、本市といたしましては、昨年度から実施しております路線の水

道管の埋設工事に併せて、今年度から独自に、平成30年を目途に本路線の舗装修繕工事を執行していく計画であります。

今年度は、川骨池付近の一部打換え工事を行う予定で、今進めているところでございます。以上でございます。

○議長（三野会長） 栗本委員さん、よろしいでしょうか。。

○栗本委員 はい、議長。

○議長（三野会長） 栗本委員。

○栗本委員 状況につきましては、分かりましたので、また後ほど、意見に対する対応方針の中で、まとめてお尋ねしたいと思います。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

他にございませんか。

[発言なし]

○議長（三野会長） 特に無いようでございますので、（1）報告事項アについては、これで終わりたいと思います。

会議次第3 議事（2）協議事項

ア 合併基本計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針について

○議長（三野会長） 続きまして、（2）協議事項アの合併基本計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針についてでございます。

御承知のとおり、この事案につきましては、高松市長から依頼を受けまして、本地域審議会で検討会を重ね、取りまとめた意見を、去る5月27日に大西市長へ提出をいたしております。

本日は、その意見に対する市の対応方針について、御説明をいただく訳であります。なお、御質問、御意見等につきましては、全ての説明が終わった後に、お受けしたいと存じますので、御理解をいただきたいと思っております。

それでは、合併基本計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針について、まず概要説明を地域政策部からお願いをし、その後にそれぞれの担当から御説明をいただいたらと思っております。

まず、概要説明を多田地域政策部長、お願いいたします。

○多田地域政策部長 はい、議長。

○議長（三野会長） 多田部長。

○多田地域政策部長 それでは、協議事項アの合併基本計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針について、御説明をさせていただきます。

資料につきましては、お手元の資料H28-1-②を御覧いただきたいと思います。

この対応調書につきましては、本年4月18日付けの依頼文で取りまとめをお願いし、5月27日に御提出いただきました合併基本計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見につきまして、各担当部局において、意見内容を精査・検討し、その対応方針について整理したものでございます。

それでは、資料の項目順に従いまして、各担当から御説明をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

○議長（三野会長） それでは、項目番号1の高松市総合福祉会館の再編整備対策については、2課にまたがると思いますが、代表して障がい福祉課の金崎次長お願いします。

○金崎健康福祉局次長 はい、議長。

○議長（三野会長） 金崎次長。

○金崎健康福祉局次長 障がい福祉課長の金崎でございます。それでは、説明に入らせていただきます。

対応方針としましては、高松市総合福祉会館内の障害者福祉施設機能等につきまして、現状と課題を整理し、平成30年度末までにその機能を移転又は廃止しますが、移転する機能については、平成29年度末までに整備する「障がい者地域生活支援拠点」と一体的な整備を検討しているところであります。

なお、総合福祉会館の建物については、移転改築はしないこととし、館内のすべての機能が移転又は廃止した後、平成30年度末までに閉館いたします。

身体障害者手帳をお持ちの方が、無料で利用できる身体障害者福祉センター「コスモス園」については、移転を検討しており、平成29年度末までに整備する予定の「障がい者地域生活支援拠点」と一体的な整備を検討しております。

整備場所については、交通の利便性等を念頭に置き、本市の既存施設や民間施設等を検討しているところでございます。現在、利用されている方が、引き続き利用できるよう対応したいと考えております。以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号2番、ごみの減量化・再利用・再資源化への取組強化については、環境保全推進課になると思いますので、鍋嶋課長に御説明をお願いいたします。

○鍋嶋環境保全推進課長 はい、議長。

○議長（三野会長） 鍋嶋環境保全推進課長。

○鍋嶋環境保全推進課長 環境保全推進課の鍋嶋でございます。

項目番号2番のごみの減量化・再利用・再資源化への取組強化につきまして、説明させていただきます。

レジ袋等削減推進事業につきましては、事業者・市民団体・市の3者による協働の取組により、協定締結12事業者39店舗での買物袋持参率、これはレジ袋削減率にもなりますが、平成23年度の約21%から平成27年度の約29%に約8ポイント上昇する等、レジ袋等削減推進事業の着実な浸透が伺われるところでございます。

また、事業系ごみ減量推進事業としまして、地球にやさしいオフィス・店登録制度、これは、オフィスが129事業所、店が126店舗ということでございます。他にも、事業系一般廃棄物の多量排出事業者、市内に354事業者ございますが、ここからの減量等計画書の提出を求める等、事業系ごみの減量・資源化を推進してまいりました。

更に、これら地球にやさしいオフィス・店登録事業者及び事業系一般廃棄物の多量排出事業者の中で積極的に取り組み、顕著な成果をあげている事業者を表彰し、その取組内容を公表することによりまして、被表彰事業者の榮譽を讃えるとともに、更なる取組を促すことに加え、他の事業者の模範となるよう、より効果的な減量・資源化を推進してまいりました。

なお、被表彰事業者ですが、平成23年度から27年度までで、トータル11事業者ということであります。平成23年度に4事業者、平成24年度に3事業者、平成25年度に2事業者、平成26年度と27年度は1事業者ずつということで、11事業者を表彰したところであります。

今後とも、積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号3番、避難個別計画の策定と耐震化対策については、2課にまたがると思いますので、お二人から御説明をいただきたいと思います。まず、健康福祉局の上枝次長に御説明をお願いいたします。

○上枝健康福祉局次長 はい、議長。

○議長（三野会長） 上枝次長。

○上枝健康福祉局次長 健康福祉総務課の上枝でございます。

まず最初に、個別計画の策定につきまして、説明をさせていただきます。

大規模災害時におきまして、高齢者や障がい者及び乳幼児など、要支援者と言われる方々の避難を支援することは、重要なことと認識をしております。本市におきましては、福祉避難所設置に際しまして、そういった要援護者の受入れ等に関する協定を、老人福祉施設協議会や障害者支援施設等と締結しております。

また、特別な配慮が必要な要援護者が安心して避難生活ができるように、指定避難所の一部を区画するための間仕切り等資機材や、障がいのある方でも容易に使えるユニバーサルトイレなどを、計画的に整備しているところであります。

更に、内閣府が今年4月に作成いたしました「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」に基づきまして、2008年に本市が策定した「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」を改訂し、平常時から地域や関係機関と連携強化を図るなど、安心して避難できる体制の整備に向け、鋭意、取り組んでまいりたいと存じます。

御質問の「避難個別計画」につきましては、毎年度、各コミュニティ協議会にその地域の要援護者名簿に個別避難計画の様式を添付の上お渡しをしまして、各地域において計画立案いただくようお願いをしているところであります。

更に、今年度は災害時要援護者台帳の様式の見直しや、台帳の登録者数を更に増やすことを検討しておりまして、今後とも台帳のデータや、「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」の改訂版を基に、各コミュニティ協議会において、それぞれの地域の実情に応じた、より実効性のある個別計画を策定していただけるよう、お願いをしております。

○議長（三野会長） 後段の質問であります。これは都市整備局の金本次長に御説明をお願いいたします。

○金本都市整備局次長 はい、議長。

○議長（三野会長） 金本次長。

○金本都市整備局次長 建築指導課の金本でございます。よろしく願いいたします。

項目番号3の後段の住宅の耐震化についてでございますが、住宅の耐震化につきましては、平成23年度から住宅の耐震診断、耐震改修に対する補助を実施しておりまして、今年度からは、県と協調して耐震シェルター等を新たに対象としたほか、耐震改修等の補助率を限度額まで全額補助とするなど、住宅に対する補助制度の大幅な拡充を図ったところでございます。

また、補助制度の拡充内容等につきましては、本市ホームページや広報たかまつなどの各

種媒体の活用を始め、市内7か所での出張相談会、牟礼におきましては6月21日に実施させていただきましたが、この出張相談会や個別訪問のほか、新たに各地域のコミュニティ協議会や自主防災組織の活動の機会を捉えて説明を実施するなど、積極的に周知・啓発を行い、引き続き、補助制度が十分活用され、住宅の耐震化が促進されるよう取り組んでまいります。

なお、お手元に配布していますリーフレットが、補助の内容になりますので、よろしくお願いたします。以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号4番、浸水防止対策の推進については、2課が担当になると思いますが、代表して河港課の里石課長、御説明をお願いいたします

○里石河港課長 はい、議長。

○議長（三野会長） 里石河港課長。

○里石河港課長 河港課の里石でございます。

浸水防止対策の推進につきまして、まとめて対応方針を申しあげます。

牟礼地区におけるポンプ施設の更新等につきましては、平成27年度に杉並1号ポンプの更新を行い、今年度は、中川1号ポンプの更新及び中川3号ポンプのオーバーホールを予定するなど、計画的に適正な維持管理に努めております。

また、浸水頻度の高い中川の河口部周辺における浸水対策につきましては、昨年度に改修計画案を作成し、この方針を提出後にこれまで2回ほど地元関係者の方々に計画の説明を行ったところであり、今後、関係者の皆様の御理解・御協力のもと、速やかに事業への着手に努めてまいりたいと存じます。

また、その他下水道事業計画区域内の浸水対策につきましては、浸水実績などと現況排水路の状況や費用対効果等を踏まえ、計画的な対策を講じてまいりたいと存じます。以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号5番、保育所等の災害緊急物資の備蓄状況及び転倒防止対策については、健康福祉局の松本部長、御説明をお願いいたします

○松本こども未来部長 はい、議長。

○議長（三野会長） 松本部長。

○松本こども未来部長 こども園運営課の松本でございます。

項目番号5の保育所等の災害緊急物資の備蓄状況及び転倒防止対策についてでございます。市立の保育所、幼稚園、こども園における災害時の対応については、子どもたちを安全に

指定避難所に避難させること及び保護者への引き渡しを最優先と考えております。現在の緊急物資の備蓄状況としましては、約4割の施設において、乾パン、ビスケットなどの食料やミネラルウォーター、紙おむつなど何らかの非常用物資を備蓄してございます。

また、ピアノ等の大型備品の転倒防止対策につきましては、転倒防止器具や固定器具を設置するほか、保育室には背の高いものを置かず、壁沿いに設置するなどの対策を講じているところであります。

今後とも、真に必要な防災用品について検証してまいりたいと存じます。こども園運営課からは、以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号6番、災害時避難施設等の確保については、財政局と創造都市推進局の2課にまたがると思いますが、代表してファシリティマネジメント推進室の森田室長、御説明をお願いいたします。

○森田ファシリティマネジメント推進室長 はい、議長。

○議長（三野会長） 森田室長。

○森田ファシリティマネジメント推進室長 ファシリティマネジメント推進室の森田でございます。

牟礼総合体育館と牟礼中央公園運動センターについてでございますが、今回の再編整備計画(案)1次におきましては、両施設とも継続使用とさせていただいております。ただし、利用率が課題であるという意見もありまして、現在の状況のまま改善が図られない場合には、15年後にはスポーツ施設としての機能等について見直しを検討することも考えられます。その場合につきましては、御指摘のように災害時の避難場所として指定されておりますことから、地域の重要拠点施設でもありますので、慎重な対応が必要であると考えております。

なお、この再編整備計画(案)1次につきましては、今後、パブリックコメントや市民説明会などで皆様方からいただく御意見を参考に、必要な修正を行いながら進めていくことにしています。以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号7番、学校教育の場における文化芸術事業の拡充については、文化芸術振興課の一原課長、御説明をお願いいたします。

○一原文化芸術振興課長 はい、議長。

○議長（三野会長） 一原課長。

○一原文化芸術振興課長 文化芸術振興課の一原でございます。

学校教育の場における文化芸術事業の拡充についてでございますが、御意見をいただきましたとおり、本市におきましては学校教育の場における文化芸術事業として、学校巡回芸術活動を始め、ものづくりふれあい教室、高松国際ピアノコンクール推進事業としての学校訪問リサイタルを実施しております。子どもたちが様々な芸術に触れることで、感性が磨かれ、芸術に対する理解が深まるよう、これらの事業を継続するとともに、今後、新たな分野を取り入れるなど、内容をより充実させたものにしていきたいと考えております。

また、この他学校に対しては、文化庁補助事業等の質の高い芸術鑑賞の情報を発信するなど、子どもたちが文化に興味を持てる機会を、引き続き提供したいと考えております。以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号8番の市道の新設整備については、都市整備局の高嶋次長、御説明をお願いいたします。

○高嶋都市整備局次長 はい、議長。

○議長（三野会長） 高嶋次長。

○高嶋都市整備局次長 道路整備課の高嶋でございます。

項目番号8番、市道の新設整備でございますけれども、本路線は平成20年度に要望書の提出を受けておりまして、事業に着手していたものであります。利害関係者の合意形成が図れず、頓挫しており、その後更に、平成23年度には、隣接する宮北落合線の現道拡幅要望を受けまして事業化いたしました。再度、合意形成が図れず要望書の取り下げを行っているものであります。

今回、地元地権者の同意が得られたと伺っておりますので、生活道路整備事業としての正式な書類の提出を受けた後、高松市生活道路整備審議会に諮り、その意見を受けた上で、これまでの経緯も踏まえまして、事業化を検討してまいりたいと存じます。以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号9番の県道・市道等の整備についても、続けて高嶋次長、御説明をお願いいたします。

○高嶋都市整備局次長 はい、議長。

○議長（三野会長） 高嶋次長。

○高嶋都市整備局次長 道路整備課の高嶋でございます。

項目番号9、県道・市道等の整備でございますが、未整備路線の整備につきましては、本市では、昨年度の市議会所管事務調査を踏まえまして、生活道路整備事業の見直しを行った

ところでございます。

そして、この新しい制度に基づき、高松市生活道路整備審議会に諮り、その意見に基づき整備を行う方針でございまして、引き続き地域審議会からの御意見もいただきながら、地元関係者の同意が得られた路線より、順次整備に努めてまいりたいと存じます。よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） ありがとうございます。

続きまして、項目番号10番のことでん八栗駅等の交通結節拠点としての強化と整備については、市民政策局交通政策課の伊賀課長補佐、御説明をお願いいたします。

○伊賀交通政策課長補佐 はい、議長。

○議長（三野会長） 伊賀課長補佐。

○伊賀交通政策課長補佐 交通政策課の伊賀でございます。よろしく願いいたします。

ことでん八栗駅等の交通結節拠点としての強化と整備についてでございます。

多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画におきましては、生活交流拠点において、拠点性を発揮できるまちづくりを進めるため、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりに資する取組といたしまして、鉄道駅における交通結節機能の強化や乗り継ぎの円滑化などの内容を定めております。

本市では、公共交通利用促進条例の制定を契機といたしまして、ことでんのI r u C aカードを活用した電車とバスの乗り継ぎ割引の拡大や70歳以上の市民を対象とした公共交通運賃半額制度等を実施するとともに、コミュニティバス等の運行を目指しまして、地域住民が設立する組織に対し、運行ルートや資金計画を策定するための活動を支援する制度を創設するなど、公共交通の利便性の向上に取り組んでおります。

また、鉄道駅の交通結節拠点としての強化につきましては、総合都市交通計画に基づき、基軸であります鉄道サービスの向上を図りながら、主要な鉄道駅からの支線となるフィーダー交通などの確保・充実に取り組んでいるところでございます。

八栗駅におきましても、交通結節拠点といたしまして、現行バス路線の再編に併せて、地元関係者の御協力もいただきながら、拠点性の向上に努めてまいりたいと存じます。以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございます。

続きまして、項目番号11番の高松テルサの再編整備の見直しについては、財政局と創造都市推進局の2課が担当になりますが、産業振興課と財産経営課ファシリティマネジメント推進室になりますが、溝渕産業振興課長補佐、御説明をお願いいたします。

○溝渕産業振興課長補佐 はい、議長。

○議長（三野会長） 溝渕産業振興課長補佐。

○溝渕産業振興課長補佐 産業振興課の溝渕でございます。よろしくお願いいたします。

高松テルサの再編整備の見直しについてでございますが、再編整備計画（1次）案の策定に当たりましては、有識者会議から、施設の劣化度、今後の維持修繕費用、利用者の交通アクセス、県・民間施設との機能重複を考慮すると、公共施設として存続させる必要性は低く、10年以内に民間への売却を含めた廃止の検討が必要との意見が出されておりますが、国との契約に基づく違約金の発生もありますことから、現時点では、契約期間が満了する平成35年3月末までの間は、管理・運営を継続することとしております。

ただし、その間、将来に向けた大規模な改修や修繕は行わず、施設の維持・管理に必要な修繕や予防保全を計画的に実施することとしております。以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

続きまして、項目番号12番の行政組織再編計画による保健センター等出先機関の在り方については、地域包括支援センターと保健センターになりますが、代表して保健センターの水田センター長、御説明をお願いいたします。

○水田保健センター長 はい、議長。

○議長（三野会長） 水田保健センター長。

○水田保健センター長 保健センターの水田でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

項目番号12番の行政組織再編計画による保健センター等出先機関の在り方につきまして、御説明させていただきます。

まず、メリットといたしましては、保健師等の専門職のコーディネーターを配置し、妊娠期から子育て期にわたる相談・支援をワンストップで提供する子育て世代包括支援センターの設置を予定しており、幅広く多様な保健・福祉ニーズに応じて、より一層の相談・支援体制の充実を図ります。また、保健師を総合センターに集約配置することで、チーム体制による的確かつ迅速で、質の高い業務の実施が可能になるとともに、機能が充実した総合センターの福祉部門等との連携ができますことから、保健・福祉サービスの、更なる向上が図られるものと存じております。

次に、デメリットといたしましては、幼児健診、1歳6か月児健診と3歳児健診を、牟礼を含めた全ての総合センターにおいては実施せず、桜町保健センターで集約実施いたしますことから、健診場所が遠くなることが挙げられます。

なお、牟礼町における幼児健診は、今年の4月から、牟礼保健センターでの実施を取りやめ、桜町保健センターで実施いたしております。保護者等への周知につきましては、ホームページ、保健だよりや広報たかまつなどはもとより、その幼児健診時や4か月児相談、乳児相談など牟礼町で実施する母子保健事業での機会、更には地域子育て支援拠点、保育所や幼稚園などで周知・説明し、引き続き乳幼児の保護者に適切に伝わるよう努めてまいりたいと存じます。また、新しく総合センターで実施することになる事業についても同様に、今申しあげました方法など、最も有効に伝わる方法で周知してまいりたいと存じます。

また、幼児健診を桜町保健センターで実施する理由についてでございます。総合センターは、各種行政窓口サービスに加えて、保健・福祉窓口サービスとの連携を視野に入れて、幅広い行政サービスを提供するために設置するものでありますことから、総合センター、地域包括支援センター、保健センターの窓口機能は、基本的には1階に配置するとの方針のもと、整備するものでございました。

しかしながら、執務室の所要面積を調整した結果、地域包括支援センター及び保健センターは1階から2階に移設することとなり、診察室や歯科健診設備等を撤去し、改修を実施したことから、幼児健診を行うための施設・設備が整わず、1歳6か月児・3歳児の幼児健診の実施が困難になったものです。以上でございます。よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

最後になりますが、項目番号13番のまちづくり交付金の見直しについては、これも2課が担当になりますが、コミュニティ推進課の藤田課長、御説明をお願いいたします。

○藤田コミュニティ推進課長 はい、議長。

○議長（三野会長） 藤田コミュニティ推進課長。

○藤田コミュニティ推進課長 コミュニティ推進課の藤田でございます。どうぞ、よろしく願いいたします。

項目番号13番、まちづくり交付金の見直しについてでございますが、地域まちづくり交付金については、地域コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、もって住民自治及び市民と行政との協働による地域みずからのまちづくりの推進に資することを目的としており、平成26年度から、敬老会事業を本交付金により実施する事業へ移行いたしました。

敬老会事業を実施するに当たりましては、敬老会参加者への記念品、お弁当など、直接必要とされる経費は対象となっておりますが、金券などは、対象外経費としております。

このように、対象経費は一部制限されておりますが、各種団体の皆様の御協力の下、各地

区それぞれの地域の特色を生かしながら、地域全体で実施していただきたいと存じます。以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

以上で、（２）協議事項ア、合併基本計画に係る平成２９年度から平成３０年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容について、説明が終わりましたので、これより質疑に入りたいと思います。

協議事項アの合併基本計画に係る平成２９年度から平成３０年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針について、御質問、御意見等がございましたら御発言をいただきたいと思ひます。

まず、項目番号１の高松市総合福祉会館の再編整備対策について、御質問等ございませんか。

○中村委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、中村委員。

○中村委員 中村でございます。

牟礼町身体障害者協会もこちらを利用させていただいております。会議とかされていたんですが、３０年以降はどこに行くのでしょうか。

○金崎健康福祉局次長 はい、議長。

○議長（三野会長） 金崎次長。

○金崎健康福祉局次長 現在、鋭意努力して、行き先を市の既存施設又は民間施設を検討しているところでございます。今年度中を目途に終わらせたいと思っておりますが、現在、鋭意努力をしているところでございます。以上です。

○（三野会長） 少し時間がかかるということですね。御苦労さまです。

続きまして、項目番号２、ごみの減量化・再利用・再資源化への取組強化について、御質問等ございませんか。

[発言なし]

○議長（三野会長） 無いようですので、続きまして、項目番号３、避難個別計画の策定と耐震化対策について、これについて何かございますか。

○松原委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、松原委員。

○松原委員 松原です。よろしくお願ひします。

項目番号３、避難個別計画の策定と耐震化対策で、「指定避難所の一部を区画するための

間仕切り等資機材や、障がいのある方でも容易に使えるユニバーサルトイレ等を、計画的に整備しています。」とのことですが、具体的な整備計画内容について教えていただきたいと思えます。

○上枝健康福祉局次長 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、上枝次長。

○上枝健康福祉局次長 健康福祉総務課の上枝でございます。

それでは、回答を申し上げます。指定避難所の福祉避難所設営用の資機材を、平成26年度から平成28年度までの3年間の計画で整備を行っております。小・中学校77校に整備予定でございます、今年度は整備の最終年度に当たるということでございます。牟礼地区におきましては、平成26年度に牟礼小学校、平成27年度に牟礼北小学校、牟礼南小学校、牟礼中学校に、それぞれ整備を完了いたしております。

また、福祉エリア用の資機材の内容につきましては、4種類ほどございます。

まず、一つ目は間仕切りでございます。これは各校20張、整備をしております、先の熊本地震でも、プライバシー空間の確保が課題になりましたが、これはワンタッチで広がりますテントのような約2メートル四方のパーテーションとなっております。

二つ目は、テントでございます。これは各校2張でございます、更衣室・授乳室用に使っていただく小型のテントとなります。

三つ目は、ユニバーサルトイレでございます、各校1基ずつ整備をしております。車椅子を利用している方を始め、様々の障がいをお持ちの方にも利用しやすい、便座の高さの低いトイレとなっております。

四つ目は、オストメイト専用トイレでございます、高松市としまして10基整備予定となっております。現在、8基整備をいたしておりますが、有事の際につきましては、必要な避難所に設置される予定でございます。これは、例えば人口肛門でありますとか、腹部にストーマを造設された方を対象にしたトイレでありまして、小さい梨のような形のトイレとなっております。

以上の資機材を福祉エリア設営用資機材として整備しているところでございますが、具体的な運用につきましても、福祉避難所の手引に加筆修正をしまして、より実行的な運用を検討してまいりたいと存じます。以上でございます。

○議長（三野会長） ありがとうございます。よろしいですか。

この3番については、前段と後段と二つの質問があるかと思えますけれども、前段については、しっかり取り組んで行くという御回答だろうと思えますので、安心をいたしており

ますし、後段については、皆さん御承知のとおり、世界で起きている地震の約9割が、日本を含んだ環太平洋で起きているようでございます。地震はいつ起きるか分からないということからも、耐震化を強力に進めていただきたいと思います。

これを見てもみますと、新しく簡易な耐震改修にも補助金を50万円増やしたと、こういうお話のようでございますので、しっかりと紙面でPRしていただきたいと思います。ありがとうございます。

続きまして、項目番号4、浸水防止対策の推進でございますけれども、御質問でございますか。

○松浦委員 はい、議長。

○議長（三野会長） 松浦委員。

○松浦委員 松浦でございます。

御回答の対応方針の中で、昨年度に改修計画案を策定されて、現在、推進に努めているということでございまして、大変評価をさせていただきたいと思うのですが、その改修計画案の中において、私どもが告示をしました房前から原浜に至る海岸線、この部分について、排水能力を向上させたのか、させようとしているのか、それとも現状維持をするという計画なのか、その辺りを少しお答えいただきたいと思います。

○里石河港課長 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、里石課長。

○里石河港課長 河港課の里石でございます。

現在、進めております浸水対策につきましては、やはりポンプ施設に向かう水が適正に、きちんと流れ込んでいないため、水路の排水能力を上げるということで、現在、浸かっているところの対策が向上するものと考えております。併せて、中川1号及び3号のポンプのオーバーホールもしますから、排水能力は高まるものと考えております。以上でございます。

○松浦委員 ありがとうございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございます。以上で終わります。

続きまして、項目番号5、保育所等の災害緊急物資の備蓄状況及び転倒防止対策、これについて御質問ございますか。

○多田委員 はい、議長。

○議長（三野会長） 多田委員。

○多田委員 多田でございます。よろしく願いいたします。

先ほど御説明していただいた内容では、約4割が何らかの備蓄をされているとお答えいただいたのですが、これは、どなたがその必要性を、どのように判断されて、どのような経費で備蓄の物資を揃えられているのか教えていただきたいと思います。

○宮脇こども園運営課主幹 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、宮脇主幹。

○宮脇こども園運営課主幹 こども園運営課の宮脇でございます。よろしくお願いいたします。

必要性については、保護者のほうから意見が出されたりとか、保育所やこども園、幼稚園側のほうから必要性があるというところで判断いたしまして、PTA会費又は保護者会費から支出しております。以上でございます。

○多田委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、多田委員。

○多田委員 市のこども園運営課と市の予算の中に、防災に関わる内容の予算があるのか無いのかお教えていただきたいと思います。

○宮脇こども園運営課主幹 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、宮脇主幹。

○宮脇こども園運営課主幹 宮脇でございます。

今のところ検討中でありまして、予算としては計上しておりません。

○多田委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、多田委員。

○多田委員 施設によっては、広範囲から子ども達が通園していると思います。やはり、園を信頼して保護者の方は、子どもを預けていると思いますので、子育て中の保護者の方が不安を感じないように、南海トラフは必ず起こると予測されていますので、緊急時の対応に万全を期していただいて、子どもの安心安全を、ぜひ確保していただきたいなと思っております。よろしくお願いいたします。

○松本こども未来部長 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、松本部長。

○松本こども未来部長 はい、議長。

こども園運営課の松本でございます。

最初の説明でも申しあげましたとおり、まずは緊急時の対応としまして、子どもたちを安全な避難場所へ避難させること、また保護者の方に安全にお引き渡しすることを最優先に考

えているところでございます。

そういうことで、緊急の物資につきまして、就学前の施設でたくさんの蓄えが必要だとは考えておりませんで、保護者の方が不安に思われる部分につきましては、保護者のほうの対応でということに物資を備えているところもあるという状況でございます。

こども園運営課としましては、指定避難場所には物資を備蓄してございますので、そちらの方で対応し、まずは安全に保護者の方に引き渡しをすることを最優先ということで考えているところでございます。

なお、その他の防災対策につきましては、おっしゃるとおり非常に重要と存じておりますので、今後とも必要性を見極めてまいりたいと考えております。

○多田委員 どうぞ、よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございます。

続きまして、項目番号6、災害時避難施設等の確保について、御質問はございますか。

○松原委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、松原委員。

○松原委員 松原でございます。

スポーツ施設としての利用率が低い点が課題となっておりますが、どこの施設と比較して利用率が低いと判断されているのか、また15年後の見直し時期に引き続き継続使用になるには、どれくらいの利用率であれば良いのか、その数値を教えてくださいと思います。

今後、市民説明会を開催する計画のようですが、いつ頃開催予定なのか教えてくださいと思います。

○森田ファシリティマネジメント推進室長 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、森田室長。

○森田ファシリティマネジメント推進室長 それでは、説明をさせていただきます。

まず、比較対象をした施設でございますが、これは市内にある12のスポーツ施設である体育館と比較させていただいております。

実際の数値を申しあげますと、今回、利用率をみるに当たって、例えば体育館の反面だけを使用する場合は、0.5と駒単位で捉えております。そういった形で25年度、26年度の利用率を出しましたところ、牟礼総合体育館につきましては、26年度が57%、牟礼中央公園につきましては55%、これは非常に高い数字だったのですが、25年度は牟礼総合体育館が44%、牟礼中央公園が42%、ざっくり申しまして、利用率が4割ということであれば、もう一つでいいのではないかなという議論になってしまう訳なんです。ですから、

26年度並みの55%、57%という利用率が恒常的に続くのであれば、当然、この施設については継続使用ということで、今回、意見は付いているのですが、基本的には15年間の継続使用とさせていただいたものがございます。

ただ、牟礼総合体育館が25年目、牟礼中央公園が22年目ということで、15年後には建替えをするかどうかの議論が必要になろうかと思えます。

また、市内の体育館の配置状況を見ますと、市域を半分に分けたときに、西側に非常に多くの体育館がありますので、牟礼町の二つの施設については、配置的な面からも非常に重要な施設であると考えております。

ですから、もう少し競技団体等に働きかけをして、もっと利用していただけるように、お願いをしてみたいと考えております。基本的には、現状においては継続使用とお考えいただけたらと思えます。

市民説明会でございますが、非常に急で申し訳ございません。8月22日（月）の午後6時30分から牟礼コミュニティセンターのこの会場で開催いたします。私の説明が50分程度、その後、質疑応答等で1時間半程度を予定しております。

この間、勉強会で説明させていただきましたような、ファシリティマネジメントの取組の必要性というところから、御説明をさせていただきたいと思えます。そこを御存知でないと、なぜ施設の廃止が必要なのかというところが、なかなか御理解いただけないと思えますので、できるだけ多く方に御参加いただけますよう、皆様方の御協力をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） はい、松原委員よろしいですか。

○松原委員 はい、ありがとうございます。

○議長（三野会長） 市民説明会のPRは、もう済んでいますか。

○森田ファシリティマネジメント推進室長 広報たかまつ等に掲載し、牟礼支所にも掲示をさせていただいておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） ありがとうございます。

続きまして、項目番号7、学校教育の場における文化芸術事業の拡充について、御質問はございませんか。

○松原委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、松原委員。

○松原委員 松原でございます。

学校教育の場における文化芸術事業の拡充について、質問させていただきます。

対応方針の中で、「今後、新たな分野を取り入れるなど、内容をより充実したものにした
い。」となっていますが、どのような分野を考えているのか、また文化庁補助事業とは、ど
のような事業があるのか教えていただきたいと思います。

○一原文化芸術振興課長 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、一原課長。

○一原文化芸術振興課長 文化芸術振興課の一原でございます。

御質問いただいた中の学校芸術教室の拡充につきましては、現在、行っておりますメニュ
ーが、洋楽・邦楽・雅楽・落語とかバレーというような分野でございまして、コースの数か
らいうと、音楽の分野が非常に多くなっております。最近、市内で現代サーカスのプロデュ
ーサーをしている方が、市内に拠点の一つを置いておりますので、例えば、そういう分野が
学校で披露できたらなど、現在、検討しているところでございます。

続きまして、文化庁の補助事業ですけれども、文化庁のほうから香川県を通じて高松市へ、
そして、高松市から各学校現場に補助メニューの御紹介をさせていただいているものです。
国内を九つのグループに分けて、それぞれメニューを出していただいております、そ
の中から選んで申請をして採択されれば、それが学校現場で披露していただけるという事業
でございます。

今年でありましたら、新国立劇場の合唱団とか大阪フィルハーモニー交響楽団で、私ども
が学校巡回芸術教室でやっております内容より、少しランクの高いものが御披露いただける
事業でございます。

今年の採択が、高松市内では6校、11月には牟礼南小学校でも公演が行われる事になっ
ております。以上でございます。

○議長（三野会長） 松原委員、よろしいですか。

○松原委員 はい、ありがとうございました。

○議長（三野会長） ありがとうございます。

続きまして、項目番号8、市道の新設整備について、御質問はございませんか。

[発言なし]

○議長（三野会長） 無いようでしたら、これで終わります。

続きまして、項目番号9、県道・市道等の整備について、御質問はございませんか。

○栗本委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、栗本委員。

○栗本委員 栗本です。よろしく願います。

この質問をお出ししたのは、以前いただいた資料の中で、合併基本計画の進捗状況を見させていただいたのですが、道路整備の遅れが際立ってしまっていて、どうなっているのかなということから御質問をしました。

先ほどの御説明の中で、それぞれに相手がいることであるとか、利害関係、また国・県との関係も絡んでくる、いろいろな事情も想定内でよく分かります。

ただ、私が少しどうかなと思うのは、長年にわたり予算の未消化状況が続いているということを抑えますと、予算の配分と執行について、一考の余地があるのではないかと、このように思う訳であります。

どういうことかと言いますと、御承知のとおり、道路はネットワークで機能する訳ですから、その路線に予算配分したのが、都合で駄目だから不用額で流していくのはいかなものかと思えます。道路は、どこかが良くなれば、必ず全体が良くなるものなのです。

それは、端的に申しますと、大規模災害時の人命救助活動、あるいは復興に道路ネットワークの成熟度が進捗を左右するような事例は、他地域の事例からも教訓として出されている訳です。

そういうことであれば、合併基本計画のときにまとめている道路については、10年経っていても、まだ未消化状態が続いているということではなくて、その予定していた箇所が駄目でも、どこかで整備していけるような仕組みを作れば、全体的に、もっと早く整備できるのではないかなと考えています。

一口で言いますと、優先度に応じた選択と集中の徹底、予算は限られていますから効率的に使うことによって、道路整備の遅れを早く取り戻していただきたいというのが私の意見であります。メリハリの効いた事業展開をしていただき、一日でも早く整備効果が発現できるような戦略的な取組を期待したいと思います。よろしく願いいたします。

○高嶋都市整備局次長 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、高嶋次長。

○高嶋都市整備局次長 道路整備備課の高嶋でございます。貴重な御意見をありがとうございます。

道路につきましては、今、言われましたネットワークが大変重要でありまして、迂回路とか災害時の緊急輸送道路であったり、避難路であったり、緊急時の復旧にも大きな影響を及ぼすということもございます。

先ほども、対応方針で申しあげましたように、本市では今年度より、生活道路整備事業の見直しをしております。事業の採択、優先度を判定します生活道路整備審議会を設置した

ところでございます。今言われました必要性とか緊急性、効率性等を勘案した当審議会からの諮問をいただきまして、今御意見をいただきましたとおり、優先度に応じた選択と集中によって、メリハリの効いた事業を展開して、予算の未消化をなくしていくという目標の基にやっていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

○議長（三野会長）この事案は、8番も同じだと思っておりますので、生活道路整備審議会ですっかり御審議をお願いしたいと思っております。ありがとうございました。

続きまして、項目番号10、ことでん八栗駅等の交通結節拠点としての強化と整備について、御質問はございませんか。

○栗本委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、栗本委員。

○栗本委員 この多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画とは、なんだろうかと思いついて、ホームページを検索してみたのですが、ミッションといい、コンセプトといい立派な計画を立てています。ただ、この計画が策定されてから、既に3年が経過している訳ですが、その後の状況を見ると、概念のみが先行している感がして、市民からしてみれば分かりづらいというのが実感じゃないかと思っております。いろいろと市民の声も聞いたと伺っていますが、やはり絵に描いた餅に終わらないようにしていただきたいと思っております。こういった類のものは、大手のコンサルやシンクタンクがまとめた立派な計画書が出てくるのですが、あまりにも立派過ぎて、ほとんどのものは計画倒れになったり頓挫してしまうんです。

だからこそ、具体的な整備内容や実現に向けてのプロセスとか整備手法、整備スケジュールなど、予算の問題が絡んではきますが、もう少し具体的に示すことができれば、事業に対する市民の理解も深まりますし、協力も得られやすくなるのではないかと思います。その努力をしっかりとやっていただきたいというのが私の意見ですし、もう少し具体的に見えるような取り組みをしていただきたいと思っております。

少し耳に入ってくるのは、八栗駅の拠点整備の話も出ている訳ですが、当然、そこには利害が絡んできますし、賛否双方の声が入ってくる部分もありますので、そういう現実をしっかりと踏まえて、整備する上においても具体論の部分を早く示していただきたいと思っております。

それともう一つは、コンパクトな都市構造の転換に向けて、集約拠点間を結ぶ道路ネットワークの機能強化が、求められると思っておりますが、牟礼地区における具体的な取組方針について、お尋ねしたいと思います。

○伊賀交通政策課長補佐 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、伊賀補佐。

○伊賀交通政策課長補佐 交通政策課の伊賀でございます。

まず、最初の御質問ですけれども、具体的なものを示すべきだということで、平成22年に総合都市交通計画を作りました。その前段で多核連携型という考え方が出てきている訳ですが、おっしゃられるとおりの具体的なものが、なかなか出せていませんでした。ただ、平成26年に国の制度がだいぶ変わってきました、「コンパクト・プラス・ネットワーク」、コンパクトは土地再生の特措法の改正、ネットワークのところでは公共交通活性化法の改正がありました。その話を受けまして、26年度に総合都市交通計画を引き継ぐ形で公共交通のマスタープランを作りました。

昨年度、再編実施計画をどうやって進めいくのかと、踏み込んだ形でお示しをしております。その一つが、琴電の新駅構想です。公共交通のネットワークを面的に作っていく上では、結節拠点の整備は避けられません。その中で八栗駅は高松市の東部のエリアの重要な駅になるかと思っております。

ただ、総合都市交通計画の中で踏み込んで、施策提案しております琴電新駅の方からやりつつ、面的な整備をより具体的に市民の皆様にお示ししながら、どのようなことが、これから公共交通において求められているのか、細かく説明をしていきながら御理解をいただいて、各拠点駅に波及させていきたいと考えております。

併せて、コンパクトのほうの話で申しますと、土地再生特措法の改正で今、立地適正化計画を作っております。それは、拠点性がある拠点に対してどういう施策を打っていくと拠点性が高まるかとかも一緒に併せて今年度、素案を作っているところでございます。より一歩踏み込んだ形で、具体的に考えているところでございます。

二つ目のご質問ですが、道路ネットワークの話になりますと、交通政策課の所掌ではなくて、道路整備課の所掌になるのですが、バスを走らせるという視点で申しますと、道路ネットワークというものは、重要な位置付けにあるかと思っております。

それは、別の質問の中で出ておりましたように、災害時にどうするのか、また生活していく上で重要な道路は何なのか、先ほど、道路整備課のほうから対応方針が出たと思っておりますが、そういう形で公共交通に関しても、道路ネットワークと同様に検討していきたいと考えております。

○栗本委員 はい、議長

○議長（三野会長） はい、栗本委員

○栗本委員 よろしくお願ひします。

なぜ、道路ネットワークをわざわざ持ち出したかと言いますと、この総合計画とまちづく

り戦略計画の中で、立派な文言をたくさん謳っておりますが、その具体化に向かって、きちんと対応していかなければ、絵に描いた餅で終わってしまうということです。

もう一つお願いしておきたいのは、こういった計画を具体化していく上で、地元を巻き込んだ議論をするのが一番大事なので、八栗駅拠点整備の話にしても、ぜひ地元の意見を取り入れながら、きちんと具体論の中身を決めていくこと、そこが肝要になるかと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○議長（三野会長） 良いアイデアだと思います。よろしく申し上げます。以上で終わらせていただきます。

お願いですが、時間もだいぶ経っております。まだ、事案がかなりありますので、質問者も答弁者も、お互い能率よくお願いしたいと思っております。

続きまして、項目番号11、高松テルサの再編整備の見直しについて、御質問はございませんか。

○栗本委員 はい、議長

○議長（三野会長） はい、栗本委員

○栗本委員 簡潔に申しあげます。

以前、ファシリティマネジメントの説明を受けた時に、確か1年間に9千万円の赤字が出ると聞きましたが、10年間持ち続けると単純に計算して9億円じゃないですか。

それであれば、先ほどから出ている体育館や運動公園は、今後の利用率が課題になっているのに、高松テルサは国との違約金が生じるという、これだけの理由で持ち続けなければならないのか。こういった議論が、市議会の中とか審議会の中で重ねられた上でのことなのかどうかをお伺いいたします。

○森田ファシリティマネジメント推進室長 はい、議長。

○議長（三野会長） 森田室長。

○ファシリティマネジメント推進室長 これは、御指摘のとおりでございます。私どものほうも、できるだけ早期の廃止を考えて、内容について検討をまいりました。また、経費等のシミュレーションも、何パターンか作って検討をまいりました。

先ほどの違約金の問題もあつたのですけれども、一番大きな問題は音楽ホールがあります。20年来、小・中学校の合唱コンクールを初め、たくさんの音楽の行事に利用されております。

その中には、市が誘致した行事もございます。代替施設としては、サンポートホールの小ホールとか県民ホールの中ホール、国分寺ホール等を考えておりまして、できるだけそちらの

施設に移っていただけるよう、お願いをしていこうと思います。

しかし、秋のシーズンになりますと、どこの施設も予約で詰まっている状況ですので、移すにしても数年間、特に日程を変えることになると、予選の時期から変えていかなければならないという大きな問題があります。

それについては、5年なりある程度の期間を持っていく必要があるのかなということがありまして、今回、違約金の問題も含めてテルサについては、今年から7年間存続させていく、また会議室についても、企業組合等の研修で活発に利用されております。代替施設としては、生涯学習センターとかサンポートホールの会議室、サンメッセ会議室等に順次、移っていただくと考えておりますけれども、その日程調整等もございまして、今年、市民説明会等で充分説明をして徐々に移っていただきたいと思っております。

もし、早くできるのであれば実施していきたいと考えておりますので、御理解をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○議長（三野会長）ありがとうございました。11番は、これで終わります。

続きまして、項目番号第12、行政組織再編成計画による保健センター等出先機関の在り方について、御質問はございますか。

○多田委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、多田委員。

○多田委員 多田でございます。よろしく願いいたします。

説明で、経緯はよく分かったのですが、利用する保護者側にとっては、遠いだけがデメリットではないという気がいたします。特に、子育て中の親御さんにお話を聞いても、駐車場が非常に利用しづらく、不便だという声が多くありました。

中には、車に乗れなくて小さな子どもを、桜町まで連れて行くということに、不安を感じている方もおられますので、このことについても、対策、対応をよろしく願いいたします。

○水田保健センター長 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、水田センター長。

○水田保健センター長 今、おっしゃられたとおり、デメリットとして遠くなるということは、避けられないところでございますけれども、駐車場の問題がございまして、確かに桜町の駐車場は、1歳6か月児、3歳児の検診の際には、結構、満杯近くになる状況でありまして、そういった状態になると、入れにくいとか出しにくいとかの問題はございます。

その辺りについては、縦列駐車する際に前の方からも出られるようにするとか、駐車場に誘導員を配置するとかの対応をさせていただいているところでございますけれども、これか

らも出入りについて、もっと使い易くなるように検討させていただきたいと思います。

駐車場の料金の関係ですが、現在、桜町の駐車場は、1時間を超えると料金が発生することになっております。他の地域の保健センターでは、無料で利用していただけるようになっておりますので、その辺りの違いについても、検討させていただいているところございます。

今後、良い利用ができるようにさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○多田委員 よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） できるだけ無料になるよう、よろしく願いいたします。

他に、御質問はございませんか。

○川田委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、川田委員。

○川田委員 4月から、1歳6か月児、3歳児の検診を桜町の保健センターで行っておりますが、既に4か月経過しています。桜町の保健センターに変更したメリットとデメリットがあると思うのですが、受診率も含めたメリットが多くないと変更した意味がないので、その辺りを把握しておいでるのかどうか、お伺いいたします。

○水田保健センター長 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、水田センター長。

○水田保健センター長 4月から牟礼町の方は、桜町の保健センターに来ていただいて、5か月目に入ろうとしております。その辺りの状況でございますけれども、受診率につきましては、従来の数値とほぼ同等でございます。細かく申しますと、従来よりは若干、受診率は増えている状況でございます。

その原因として考えられるところでは、桜町のほうでは毎週実施しておりますので、都合の悪いときなどに、日程の選択の幅が広まったのが、数値の上昇に影響しているのではないかと考えております。

○議長（三野会長） ありがとうございます。以上で終わらせていただきます。

最後になりますが、項目番号第13、まちづくり交付金の見直しについて、御質問はございませんか。

○松浦委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、松浦委員。

○松浦委員 まちづくり交付金の見直しでございますけれども、御指摘のとおり、まちづくり交付金の使い方については、牟礼地区におきましては、痛いほどよく分かっているつもり

でございます。ただし、敬老会事業に関しましては、まだまだ75歳以上の対象者の方の御理解が、十分進んでおりません。

まちづくり交付金は、当然のことながら地域の裁量によって、使い方が決定される訳でございます。敬老会事業の予算が、ほぼ半分あるということで、大きなお金でございますので、使用目的について我々にお任せをいただくのも結構ですけれども、今後、長寿福祉課と御協議をいただいて、この目的のみに使うという事業にさせていただければ、我々も、まちづくりにまい進できるという気持ちがあります。御検討をいただければと思います。

○藤田コミュニティ推進課長 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、藤田課長。

○藤田コミュニティ推進課長 コミュニティ推進課の藤田でございます。

今、御意見いただいたとおり、まちづくり交付金は、それぞれのまちづくりを推進するために地域の裁量で、どのような方法が効果的かを検討いただいて、決定して実施していただいております。

敬老会事業についても、26年度から、まちづくり交付金の中の事業の一つとして実施しております。具体的にどのような手法で実施するのかについては、地域で御検討いただいております。問題は、交付金という公金を地域でどのように使っていくかについてですが、皆さんの税金を使っている以上ルールが必要でございます。

敬老会事業の中では、運用が認められていたものがあつたかもしれませんが、時代の変化とともに、公的な資金の使い方、例えば金券、有価証券が、言葉は悪いですが広く配布されるようなやり方については、いかがなものかなという御指摘が包括外部監査委員さんからの指摘がある中で、数年かけて見直して、交付金を使う使途のルールを具体的に定めた訳でございます。

地区によっては、幅広く活用できるような券を有効に配布して、高齢者の方に喜んでいただきたいという思いを持って実施している地区もあるかもしれません。その資金を地域で自主的に集めたお金で実施する、まさに地域自ら考えてやっていることで、すばらしい取組だと思います。

ただ、まちづくり交付金という予算を使って、一定のルールからはみ出る部分については、市としては指導させていただく必要があるということです。これは、世の中の価値観とか客観的に税金の使い方を見る目が、いろいろと変わってきたり、変化も今後していくとは思います。

また、地域によっての人口の構成も違いますし、当面、近未来においては、どの地区も

高齢化がどんどん進んでいく時期でございますので、公金の中のまちづくり交付金を高齢者に対して、どのように使っていくことが有効かを、市としましては各地域の皆様のお知恵を借りながら、一緒に検討してまいりたいと思っておりますが、現時点においてのまちづくり交付金のルールにつきましては、有価証券の執行については、原則認めていないという対応で進めさせていただきたいと思っております。御理解を賜りたいと存じます。

○松浦委員 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、松浦委員。

○松浦委員 冒頭で申しあげましたとおり、まちづくり交付金の使用方法については、牟礼地区におきましては、痛いほど分かっております。

敬老会事業が中に入っているということは、対象者への公平性を優先するべきなのか、それとも地域のまちづくりで他の事業に使うべきなのかということは、まだ議論が成熟しておりません。

そして、先ほども申しあげましたとおり、対象者には、まだ御理解が進んでいないため、対象者の方々は、「やってくれて当たり前だ」という市民が多いということでございます。ですから、高松市として全地域を含めて敬老会事業を別にして、まちづくり交付金ではなく、違う事業として実施したほうが、非常に効果的であるし、地域のためにもなります。

地域がぎくしゃくしないためにも、そのようにお願いしたいということでございます。

○多田地域政策部長 はい、議長。

○議長（三野会長） はい、多田部長。

○多田地域政策部長 松浦委員さんの御意見は、敬老会事業については、まちづくり交付金と分離すべきであるという御意見だと存じております。

敬老会事業については、牟礼地区のみならず複数の地域において、いろいろな取扱い上の問題も出ております。牟礼地区地域審議会において、このような御意見があったということを受け止めまして、今後、コミュニティ協議会連合会の高松市全地区に関わる問題であると思っております。一度、議論を提起してみたいと思っておりますので、そういう扱いをさせていただくということで御理解いただければと思います。

○議長（三野会長） 松浦委員、よろしいでしょうか。

○松浦委員 はい、ありがとうございました。

○議長（三野会長） 全体で御審議していただきたいと思っております。他にございませんか。

[発言なし]

○議長（三野会長） 無いようでございますので、以上で協議事項アの合併基本計画に係る

平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見に対する対応方針につきましては、終わらせていただきます。

会議次第4 その他

○議長（三野会長） 続きます、会議次第4の「その他」でございます。この地域審議会でお諮りしたいこと、あるいは御意見、御質問等がございましたら、御発言をいただきたいと思っております。

○小田委員 はい、議長。

○議長（三野会長） 小田委員。

○小田委員 小田でございます。時間が迫っておりますが、よろしく願いいたします。

通電火災は、大規模な地震などに伴う停電が復旧し、再び電気が通じた際に、電気ストーブや断絶した電気コードなどが原因となって起こる火災です。電気のスイッチが入ったまま避難する人が多く、阪神・淡路大震災での長田区や東日本大震災でも、出火原因の多くが通電火災だったと言われております。

静岡県藤枝市では、すでに実施されているようですけれども、高松市でも大規模な地震の際に発生する通電火災から、人の生命・財産を守るための感震ブレーカーの設置を推進していただき、その設置費用の一部を助成してはいかがかなと思っております。

また、なかなか進まない家具転倒防止対策についても、固定器具を1世帯当たり3台まで無料にするなどの工夫をしていただき、対策を講じていただけないでしょうか。

○議長（三野会長） はい、これについては危機管理課でしょうか。

○宮脇総務局次長 はい、議長。

○議長（三野会長） 宮脇次長。

○宮脇総務局次長 危機管理課の宮脇でございます。

まず、感震ブレーカーの設置推進についてでございますが、感震ブレーカーは地震によって停電した後、送電が復旧した際に破損した電気製品などからの発火が、主な原因となります。通電火災を防止するために有効であります。

そういうことから、藤枝市もそうですが、横浜市などの先進市が、平成25年頃から助成制度を創設いたしまして、普及促進に取り組み始め、その後、主に人口密集地域の一部自治体や地域自治会等におきまして、普及のための様々な取組を進めていると聞いております。

一方、夜間に地震が発生した場合に、直ぐにブレーカーが遮断されてしまうということで、

避難行動に支障をきたしたり、誤作動による冷蔵庫等の電気製品の停止への不安があったり、また地域全体に普及しなければ延焼火災を防げないなど、普及においては様々な課題もごございます。現在、中核市からの調査回答では、普及のための助成制度は、制定していないというのを聞いております。

本市としましては、感震ブレーカーの設置補助の予定は、今のところございませんけれども、今後、国の動向や先進市の状況を注視しながら、設置の有効性について、調査・研究していきたいと考えております。

それから、もう一つの家具の転倒防止対策についてでございますが、家具や家電も含めて転倒防止対策につきましては、地震対策ということでは極めて重要でありますので、まずは市民の方々に、興味・関心を持ってもらうことが非常に重要であると考えております。

そのため、本市では、これまでも防災マップや市政出前ふれあい講座、防災訓練などにおいて、具体的な家具転倒防止固定方法について、周知・啓発しているところであります。

更には、今年度が初めてになるのですが、8月30日からの防災週間に瓦町FLAGの8階の市民交流プラザIKODE瓦町におきまして、防災啓発展を開催しまして、その中で市民の方々が、家具の転倒防止対策に関心を持つような、有効性を活かしていただけるような展示コーナーを設ける予定でございますので、ぜひとも御覧いただきますとともに、家具の転倒防止対策の啓発につきましては、今後とも推進していくということでございます。以上でございます。どうぞ、よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。他にございませんか。

○小田委員 はい、議長。

○議長（三野会長） 小田委員。

○小田委員 小田でございます。

先ほど、環境問題でレジ袋削減率が低いということでしたが、温暖化に関しても、目には見えないのですが、この頃は気温が高くなっているし、温暖化しているなあと思います。

地球温暖化については、その対策として、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスを制限する努力をされているのですが、レジ袋と同じように、なかなか進まないもので、子どものうちから気候変動など地球温暖化の影響を正しく理解することが大切です。

そのためには環境教育をより一層充実させることが重要だと思いますが、高松市では、どのような環境教育を推進しているのか、お尋ねしたいと思います。

○議長（三野会長） はい、この質問については地球温暖化対策室ですね。

○三好地球温暖化対策室長 はい、議長。

○議長（三野会長） 三好室長、お願いいたします。

○三好地球温暖化対策室長 地球温暖化対策室の三好でございます。よろしくお願いいたします。

本市では、平成23年2月に策定しました高松市地球温暖化対策実行計画に基づきまして、持続可能な低炭素都市・高松の実現を目指し、様々な取組を進めております。

環境教育、環境学習の推進は、生涯を通して地球温暖化問題についての認識を深め、解決に向けて行動するための主な取組の一つというふうに位置づけをしております。本市の小中学校におきましては、理科や社会科、家庭科において、自然環境の保全と科学技術の在り方について科学的に考察をしたり、環境家計簿などを活用した調べなど、具体的には、節電やアルミ缶の回収などのリサイクル活動を通して、低炭素社会の実現に向けた実践力の育成を図っておりますほか、市内の小中学校の児童、生徒が参加する子ども環境学習交流会を開催しております。

また、小学生を対象とする体験学習などの環境学習事業や地球温暖化に関するパネル展示のほか、施設見学を通じてリサイクルの重要性を学ぶ南部クリーンセンター環境学習事業などを行っているところであります。以上でございます。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。これについては、よろしいですね。

他にございませんか。

○栗本委員 はい、議長。

○議長（三野会長） 栗本委員。

○栗本委員 栗本です。空き家対策問題について、お尋ねします。

牟礼地区における実態把握と老朽危険空き家の売却・改修、利活用の推進等の空き家対策の実施状況についてお尋ねいたします。

○議長（三野会長） はい、この質問については、くらし安全安心課ですね。

○山下くらし安全安心課長 はい、議長。

○議長（三野会長） 山下課長。

○山下くらし安全安心課長 くらし安全安心課の山下でございます。よろしくお願いいたします。

お尋ねの空き家の実態でございますが、平成26年に市内全域におきまして、空き家の実態調査をいたしました。その結果、市内全体では、5,868戸の空き家が確認されております。その中で、倒壊の恐れがあるなど危険と判断される空き家が、935戸確認されております。

これを牟礼地区に限ってみますと、牟礼地区では187戸の空き家が確認されておりまして、その内27戸が危険という判断がなされる空き家となっています。

このような実態を踏まえて、本市におきましては本年2月になりますが、空き家特別措置法に基づきます空き家等対策計画を定めまして、空き家の除却、あるいは利活用等の推進に現在、取り組んでいるところでございます。

特に支援制度につきましては、今年度新たに、空き家を除去する場合に費用の8割、160万円が限度額であります。そういった補助制度を設け、また空き家の利活用につきましては、県が設置しています空き家バンクに登録されている空き家についてのリフォーム補助というのも現在、実施しております。

今後におきましても、法律に定める措置につきましては、適切に実施していきまるとともに、助成制度も活用しながら、鋭意空き家対策に取り組んでいきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

栗本委員、よろしいですか。

○栗本委員 はい、議長。

○議長（三野会長） 栗本委員。

○栗本委員 実態が、どのような状況であるかは分かりましたが、大事なのは安全安心の確保でありまして、いかに危険を排除させるかということでもありますので、早急な対応をお願いいたします。これは、まちづくりの大きな武器にもなりますから、利活用ということも含めて考えていただきたいと思います。

そういう点では、先ほどから言っています多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画の中でも、空き家対策については、はっきりと謳われていますから、大切なことは縦割りではなく、交通政策課なり関係課等としっかり連携をとって市全体としての対策、あるいは住民を巻き込んだ対策等、しっかりとやっていただきたいと思います。

そのためには、数だけの空き家の実態把握ではなく、具体的な利活用プランまで含めた早急な対応をお願いします。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

○城下市民政策局長 はい、議長。

○議長（三野会長） 城下局長。

○城下市民政策局長 御意見、ありがとうございます。市民政策局長の城下でございます。

栗本委員さんから、まちづくりの関係を中心に御指摘をいただく中で、今、空き家の問題

について、御意見をいただいております。

説明が、上手くできるかどうか分かりませんが、現在、都市が抱えている問題は、人口減少であったり、高齢化という大きな基調の中で、公共交通を大切にしないと「まち」が支えられないとか、集約化をしていかないと都市の経営が上手くいかないという問題があったり、更には核家族化という中で空き家が増えており、いろいろとマイナス面の影響が出てくるとい、非常に多方面に亘る要素が、一度に問題として見えてきているという状況であったのだと思います。

それを解決していくに当たっては、大きな物の考え方としてのプランと、それから現実に現場でどういうことが起きているのかという現場主義の考え方、この両方のことが必要なだろうと思います。現場主義の立場で現場に寄り添いながら解決していくことが、大変重要なことであると思いますので、行政としましても、その考え方でやっていかないといけないと思っております。

一方で、市としてやっていることを少し御説明いたしますと、コンパクト・エコシティの問題については、高松市だけの問題ではなく、地方都市全体が抱えている問題でありまして、市のほうでは、コンパクト・エコシティの問題に地域の高齢化対策としての包括ケアの問題を絡ませたり、更に人口減少の対応を絡ませたり、公共交通の問題を絡ませたりして、総合的に物事を考えようということは常にやっております。

しかし、市民の皆様本当に分かっていただけるような状態に噛み砕いてお伝えできているかということところは、非常に反省すべきところがあるのですが、時代の状況をできるだけ高い視点、広い視点で眺める中で、いろいろな施策に取り組んでおりますとともに、我々としましても、更に御理解していただける努力をしてまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。以上でございます。

○議長（三野会長） 城下局長、ありがとうございました。

他にございませんか。

○小田委員 はい、議長。

○議長（三野会長） 小田委員。

○小田委員 小田でございます。

同じ空き家対策についてですが、ぜひ具体的に進めていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（三野会長） はい、ありがとうございました。

他にございませんか。

[発言なし]

○議長（三野会長） 特に無いようでございますので、以上を持ちまして、会議次第4「その他」を終わらせていただきます。

会議次第5 閉会

○議長（三野会長）

本日の地域審議会は、皆様方の御協力によりまして、予定の時間で終わるようでございます。

今後も、まだまだ暑さが続くようございますので、お互いに健康管理に十分御留意いただきたいと思います。

本日は、皆様ありがとうございました。

○事務局（山崎支所長補佐） ありがとうございました。

これをもちまして、平成28年度第1回高松市牟礼地区地域審議会を閉会いたします。長時間に亘る御協議、大変お疲れ様でした。

午前11時45分 閉会

会議録署名委員

委員 栗本好正

委員 坂本英之